



発行元：iP-U 事務局 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350 宇都宮大学 Tel.028-649-5411 / 発行日：令和元年 11月1日

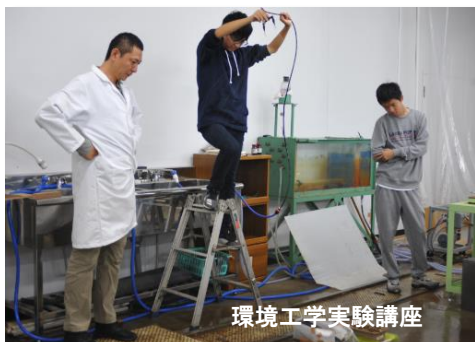
iP-U の先輩に聞く 「振り返ってみて iP-U とは？」

iP-U の講座には、宇都宮大学の大学生・大学院生がサポートしてくれている授業がありますが、実はその大学生の中に、iP-U を修了した、みなさんの先輩がいます。今回は 10 月に行われた「イノベーティブデザイン入門」に参加した先輩方にインタビューし、iP-U を振り返ってもらいました。

小林さん iP-U には、本気で科学に向き合っている高校生ばかりいて衝撃だった。11 月の GSC 全国受講生研究発表会に参加すると、そういう人たちは日本中にあるのだとわかり、自分の世界が一気に変わった。それまではあちこちに興味を持ちすぎて将来の目標が定まらなかったが、iP-U で興味を持った授業やコーチングを受けていく中で、「自分はこうなりたい」という目標が定まった。自分の進路を確定するまでの思考に、iP-U が大きく関わったのは間違いない。

猪瀬さん iP-U に来て、自分の好きな分野に全力で取り組んでいる人たちと意見交換して刺激を受けることを、毎回楽しみにしていた。授業では、教科書の中でしか見たことのない器具を使って実際に実験し、「こんなに多くの工程を踏みながら、こんなに気をつけて実験をするのか」と感動したことを覚えている。iP-U に通う中で「自分は宇都宮大で理科をやりたい」と強く思うようになり、それに向かって着実に努力することができた。

佐藤さん iP-U によって自分が変わったことを実感したのは、修了後だった。高校から、新入生全員の前で iP-U についてプレゼンするよう言われた。やってみると、緊張せずに思った以上の iP-U の紹介ができて、iP-U で学んだことが身につけているのだと確信した。(iP-U に応募した新入生がたくさんいたと知り、嬉しかった)。「研究倫理ワークショップ」で研究のルールやモラル学んだことで、具体的に研究者のあり方をイメージできたことと、先に述べた自信により、研究に携わることを目標に据えることができた。



インタビューに協力してくれたのは

小林 孝浩さん 平成 28 年度受講生

現在 宇都宮大学農学部 1 年

猪瀬 愛さん 平成 28 年度受講生

現在 宇都宮大学教育学部 1 年

佐藤 大地さん 平成 27 年度受講生

現在 宇都宮大学工学部 2 年



研究倫理ワークショップ」で研究のルールやモラル学んだことで、具体的に研究者のあり方をイメージできたことと、先に述べた自信により、研究に携わることを目標に据えることができた。

iP-U の講座開講数は折り返しを迎えました。

開講時に立てた目標に近づいていますか？自分の「5つ基盤能力」を高めるために、講座にはその都度目標を持って臨み、意欲的な学びへと繋げてください。